



皆さんの投稿欄です

# 高壯クラブ

**老いに負けずに  
立ち向かおう**

梅ヶ丘西長寿会 資訪 綱雄

社会から後期高齢者のレッテルを貼られた私ですが、もう先がないと悲観することなくなります。自分がその老いを感じた時、それは人間として成熟したことの証明であるのですから。

近年では、日本人の平均寿命が、終戦直後の50歳から80歳を越えるまでに延びてあります。ただ延びただけで健康でなければ喜んではいけないので、特に最近は、健康寿命を延ばすことがとても大事とされています。健康でなければいくつも平均寿命が延びても、全く意味がないと思います。

**体を動かし  
元気で若々しく**

千波むつみ会 川又 寛三

年齢を重ねてくると足腰が弱り、動きも鈍くなります。私は80歳から10年にわたり日々、次のように体を動かしています。

まず、朝起きてから腰を洗つ前に、ひげを剃りながらスクワット10回(腰を床と水平になるまで上げる足の運動を片方10回ずつ)、さらに、大相撲力士の勢関の相撲体操(ヒントを得て、股割り2回)をします。料理が好きで、一日に30種類以上の食材をバランスよく料理してくれる妻の手料理

第一の余分な人生などと云わずに、「人生の仕上げの時期、成熟充実したときが来た」とことを願るべきなのです。小説や映画の「アラモード」、最後のシーンは感動的なものですが、先ず健闘に留意して体力を付け、「それがいつも生き甲斐の有る人生を過」したいものです。

時間をかけて30回以上よく噛んで食べるよつ心掛けています。

庭に田れば、さつきの鉢植え等の水やりには30~40分もかかります。この時も、大股で歩いたり、足を高く上げて歩いたりしていまます。まずは体を動かすことが大切です。三日坊主では駄目ですよ。楽しく元気で長生きしましょう。

毎回の飲み会でのサロモン活動に出るとお互いに駄弁ったり、輪投げをすることが心身の健康を支えてくれています。お陰様で、皆さんから年を感じさせない、若々しいと口われる元気な体形を保っています。

あれもせねば、「れもせねばと思つた」と一日が早い。

「等しく与えられているが、この年になると一日が早い。

**半夏生の咲く頃**

一般 下山田 洋子

私は書道の講師をしている。今は、梅雨の真最中。なのに雨が降らず、各地で猛暑日が続く。本当に夏にならうともなるのか。気温が1度上がるごとにタムの水が8万リット

教室に行くバス停の小径に、木漏れ日の中、半夏生が咲いていた。

口紅は、お気に入りのローズ色で決まつたが、ファンデーションは寄れて入りず半分あきらめた。「ファンタジーナは名前だね」「半化粧か」トクタミ君の多年草。

何でも、ほんほん」と、足早に去る。

トル減るというが、暖冬で今冬も雪が少ない急いでの書きの中、節水が言われるようになつた。

そして、各地で地震も起きている。何もかも油断ならない。

「一寸先は闇、生死一如。一日24時間は皆坊主では駄目ですよ。楽しく元気で長生き

梅ヶ丘西長寿会 資訪 綱雄

# 会員文芸

感  
謝笠原本田高齢者クラブ 木村 勲子  
子供の日々供ばかりが喜ばず  
子供もつ親まして喜ぶ中原伸生会 丹下 はつ江  
風に乗り翡翠ひよんと近寄りぬ浜田竹クラブ 平賀 多美枝  
亡き母が残してゆきしシルバーカー  
押せば音鳴る扇ます如く桐友会 大内 静江  
よべの雨ぬみとおりたる土の面に  
蒔きて七日の青葉芽がいづ小吹長寿会 住谷 定  
雨上りはしゃぐ合間の雉の声  
六人競うグラウンドゴルフ愛宕クラブ 寺門 千江子  
ゆび文字で墨りガラスに書いてみる  
心の友の名前 文字桜塚長寿会 江幡 定子  
ボート部の小屋に人声草青む笠原本田高齢者クラブ 大和田 清子  
シグナルの青き光や汽車の音西原長寿会 関澤 みす  
散歩道手を取りあつて老夫婦宝塚草咲くや座十神の確  
人の輪は温かな心五月晴れ西原長寿会 関澤 茂  
千波湖の波打つ水に桜散る桜塚長寿会 飯島 良子  
老いて食ふ味嗜飽うれし柏餅浜田松一クラブ 久保田 とき  
金寿こえ幼なじみは空に舞う

桜塚長寿会 江幡 定子

西原長寿会 関澤 みす  
笠原本田高齢者クラブ 鈴木 浩二  
千波湖の鴨の子巣立ち春の風西原長寿会 関澤 みす  
笠原本田高齢者クラブ 大和田 清子  
街夢を遙かに燕地を歩く西原長寿会 関澤 みす  
笠原本田高齢者クラブ 佐藤 雄一  
友達の決め手はやはり人間味西原長寿会 関澤 みす  
笠原本田高齢者クラブ 藤井 邦男  
会話なし仕草と動作でわかる仲  
顔見せてひみつ情報さらしゆく



## 新しいクラブ誕生!

クラブ名稱	吉田百寿会(吉田地区)
設立年月日	平成28年7月1日
会長氏名	船越 敏
会員数	15名

7月1日付で新しいクラブが誕生した。  
「吉田百寿会」は、平成23年3月に会長の後継者がいない、という理由で解散した。  
その後、吉田地区の会長が地区担当の民生委員等にクラブ復活のはたらきかけを続けていた。  
今年になって若い町内会長が誕生し、町内会活動の見直しに着手、そのやる気のある姿勢に高齢者クラブづくりを依頼したところ、一気にクラブ設立へ動き出した。  
麻植会長は、吉田百寿会の歴史を学び、吉田地区内のクラブとの情報交換も熱心に行い、事務局にも相談のため何度も足を運ばれた。その熱意には感服した。  
いよいよ準備が整い、町内の高齢者ひとりひとりに声をかけ、百寿会設立に至った。地区も事務局も何より嬉しいのは、「吉田百寿会」という名前の復活に心を注いでくれたことだ。麻植会長は、自分が育った地域で父親たち先達が培ってきたものを、自分たちが恩返しのつもりで引き継いでいきたい、と思いを語ってくれた。これから、地域の高齢者とともに活動の場を広げ、会員増を目指していくという。新しく生まれ変わった「吉田百寿会」の今後の活動に大いに期待したい。

地域から応援

## グリーン千波」との間わり

高齢者クラブ グリーン千波とは会の設立以来、長いおつきあいになります。

直接のきっかけは子ども会で管理を持て余していた花壇を交流の象徴との願いを込めて、グリーン千波の皆様にお力をあげりして、共同花壇を設けたことです。

以来年々2回、町内にグリーン千波活動報告書が回覧されます。とても生き生きとした報告書で、楽しい活動が伝わってきます。

昨年度は町内会長という立場から町内にかかり、役員会をはじめとする全ての行事は「グリーン千波の交流」が「町内活動の潤滑油」のように機能して、スマーズに運営することができました。

信頼できる先輩方の知恵と経験などで支えていただき、記憶は今も鮮明です。



### スポンサー各位への御礼

このたびは、水戸市高齢者クラブ連合会広報紙「高壯だより水戸」の発行にご協賛いただきましてありがとうございました。

高齢者クラブは、高齢者の①生きがいや健康づくり②地域奉仕や文化交流③子どもとのふれあい活動などの社会活動を通して明るい長寿社会づくりに努めることを活動目的としております。

広報紙は、会員相互の親睦・交流のほか、地域の皆様に活動をご理解いただき、新規加入をお願いする目的も持っております。

これからもご支援、ご理解の程よろしくお願いいたします。

水戸市高齢者クラブ連合会 会員 船越 敏

総集編

かつて、高齢者クラブで活動していたご長寿の方たん、お元気の秘訣を伺つたことがあります。その方は「外の空氣を吸うことだよ」と言っていたのです。そのお言葉に私は深く感動をいたしました。ただ中に自然の空氣を吸うばかりではなく、どんなことにも堪んで参加することによって自分が元気でいられる、そんな場所が高齢者クラブであると感じました。

6月30日の第2回水戸市高齢者クラブ芸能興演大会では、各クラブの人達が頑張って素晴らしい笑顔をこぼすして下さいました。とても盛大で、楽しく過ごすことが出来ました。その他にも楽しいことは沢山あります。

この高壯だよりでは、各クラブの活動じまんや、研修会等、様々なご紹介をしていきます。またクラブに未加入の方や若年高齢者世代の方にも興味いただいて、外なる空気を大いに感じていただき、有意義な人生を送ってほしいと思っています。

(大内)

**会員登録会**

会長	船越 敏
副会長	柳本 多賀
専務会長	大里 公雄
会員	青岡 実
会員	大内 邦郎
会員	柳子

わたしちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています

